

科目区分	専門分野	科目名	母性看護援助論Ⅲ (看護技術)	対象学生	第2学年
		単位数(時間数)	1単位(30時間)	学 期	第1学期
担当講師	近藤 三枝			実務経験	有
科目目標	正常に経過している周産期にある女性及び、新生児に必要な看護技術、保健指導を習得する。				
授業計画	<p>妊娠期の看護と保健指導</p> <p>第1回 妊娠期の看護1 (講義)</p> <p>1. 妊娠とその診断</p> <p>2. 妊娠期に行う検査とその目的</p> <p>3. 胎児の発育と健康状態</p> <p>第2回 妊娠期の看護2 (講義)</p> <p>1. 妊娠経過の診断と胎児の健康状態の診断</p> <p>2. 妊婦健康診査</p> <p>第3回 妊娠期に必要な技術(講義・演習)</p> <p>1. レオポルド触診</p> <p>2. 腹囲・子宮底長の計測</p> <p>3. NST〔装着・判定〕</p> <p>4. 胎児心音聴取</p> <p>第4回 妊婦の保健指導1 (講義・演習)</p> <p>1. 腹帯の巻き方</p> <p>2. 妊婦体操</p> <p>3. 妊娠期の正しい姿勢と動作</p> <p>第5回 妊婦の保健指導2 (GW)</p> <p>1. 育児準備・入院のための準備</p> <p>2. 分娩期の看護と保健指導</p> <p>第6回 分娩期の看護1 (講義)</p> <p>1. 分娩時に行われる検査・処置と看護</p> <p>第7回 分娩期の看護2 (講義)</p> <p>1. 基本的ニード充足への援助</p> <p>2. 産痛緩和ケア</p> <p>3. 胎盤計測</p>		<p>第8回 妊娠・分娩期の看護 (GW)</p> <p>事例検討</p> <p>1. 妊婦・胎児の健康生活とアセスメント</p> <p>2. 妊婦と家族への看護</p> <p>3. 産婦・胎児の健康状態のアセスメント</p> <p>4. 産婦と家族への看護</p> <p>産褥期の看護と保健指導</p> <p>第9回 産褥期の看護1 (講義)</p> <p>1. 退行性変化の観察</p> <p>第10回 産褥期の看護2 (講義)</p> <p>1. 進行性変化の観察</p> <p>2. 褥婦と家族への看護</p> <p>第11回 産褥期の保健指導 (演習)</p> <p>1. 乳房ケアと授乳</p> <p>第12回 産褥期の看護 (GW)</p> <p>事例検討</p> <p>1. 褥婦の健康と生活のアセスメント</p> <p>第13回 新生児の看護1 (講義・演習)</p> <p>1. 新生児計測</p> <p>2. 保育器の取り扱い</p> <p>第14回 新生児の看護2 (講義・演習)</p> <p>1. 新生児の清潔</p> <p>第15回 終了試験</p>		
評価方法	筆記試験、課題レポート				
テキスト	<p>系統看護学講座 母性看護学2 医学書院、 病気がみえる 産科 メデックメディア</p> <p>看護実践のための根拠がわかる母性看護技術 メヂカルフレンド社</p>				
講師からのメッセージ	<p>事例を用い日常生活における基本的なセルフケアを維持促進するための援助が学べるように講義を行う。沐浴、授乳は、小児看護援助論Ⅰで学んだ「抱き方」「排泄習慣・おむつ交換」「調乳、授乳」を学習して授業に臨む。国家試験出題基準を確認し学習すること。</p>				